



## 平成30年度 埼玉県 U-13 強化指定選手及び

### 関東ブロックエンデバー推薦選手選考会実施要項

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会  
ユース育成委員会

1. 目的 ①将来日本代表となる優秀な素質を持つ選手や可能性の高い選手に定期的に良い育成環境を提供し、個を大きく育てる。  
②指導者の研鑽の場として指導者を養成する。
2. 主催 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会ユース育成委員会
3. 日時 平成30年12月23日(日) 8:45~13:00
4. 会場 【男子】越生町立越生中学校  
【女子】鴻巣市立吹上中学校
5. 参加チーム 11地区選抜チーム  
①東部A ②東部B ③東部C ④西部A ⑤西部B ⑥西部C  
⑦南部A ⑧南部B ⑨北部 ⑩さいたま市A ⑪さいたま市B
6. 選考委員 選考責任者：田中英夫(県ユース育成委員会委員長)  
【男子】①U-13担当スタッフ  
ヘッドコーチ：澤木 裕史(葛飾中)  
コーチ：下重 葵(菖蒲中)  
マネージャー：横田 惇(神川中)  
②U-14担当スタッフ(各地区選抜スタッフとの掛け持ちはしない)  
【女子】①U-13担当スタッフ  
ヘッドコーチ：柳田 育美(本庄南中)  
コーチ：木幡 好美(在家中)  
マネージャー：川端 優司(鶴ヶ島富士見中)  
②U-14担当スタッフ(各地区選抜スタッフとの掛け持ちはしない)
7. 組合せ 別紙参照
8. 試合形式 (財)日本バスケットボール協会競技規則による  
12分1本ゲーム バイオレーションは流し タイムアウト1回まで  
チームファールは7回目からフリースロー
9. 選考方法 埼玉県U-13指定・県代表選手選考基準による  
【選考人数】  
○埼玉県強化指定選手として 男女各24名を選抜  
○関東エンデバー伝達講習会推薦選手として 最大男女各5名程度



平成30年度 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会

U-13強化指定選手選考会 対戦表

		ステージ側	TO・審判	審判	入口側	TO・審判	審判
1	9:30	東部 A - 西部 B	さいたま A	南部 B	東部 C - 南部 A	東部 B	西部 C
2	9:50	北部 - 南部 B	東部 A	さいたま A	西部 A - さいたま B	南部 A	東部 C
3	10:10	東部 C - さいたま A	北部	南部 B	東部 B - 西部 C	西部 A	さいたま B
4	10:30	西部 B - さいたま A	東部 C	東部 A	さいたま B - 西部 C	南部 A	東部 B
5	10:50	東部 B - 北部	西部 B	さいたま A	西部 A - 南部 B	さいたま B	西部 C
6	11:10	西部 C - 南部 A	北部	東部 B	東部 A - さいたま A	西部 A	南部 B
7	11:30	東部 B - 南部 A	西部 C	南部 B	東部 C - 西部 B	さいたま A	東部 A
8	11:50	さいたま B - 南部 B	南部 A	西部 A	東部 A - 北部	東部 C	西部 B
9	12:10	西部 A - 東部 B	さいたま B	西部 B	西部 C - さいたま A	東部 A	北部
片付け(第9試合目のチームは着替え) 閉会式							



## 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会 U-13 強化指定選手選考基準

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会  
ユース育成委員会

①埼玉県の代表として相応しい、自覚・態度・行動・礼節を備えている。

(あいさつ・返事・コミュニケーション能力等)

②中学校 1 年生である。

③JBA 登録済みの選手である。

④男子 180cm 以上、女子 170cm 以上の身長がある。

※④に該当しない選手は以下の⑤の選考基準を①～③以外に設ける。

⑤ポジション別選考基準

『ガード：1 番・2 番』

- A：ゲームメイク・ゲームコントロールに優れている。
- B：外角のシュートを備えている。
- C：広い視野を持ち、パスセンスに優れている。
- D：オールコートに渡るスタミナ・ディフェンス力を持っている。
- E：ドリブルワークに優れ、ボールを失うことなく、キープできる。

『フォワード：3 番・4 番』

- A：速攻の一線を走る「走力」を備えている。
- B：内外角にわたる、幅広い得点力を備えている。
- C：オフェンス及びディフェンスのリバウンド力に優れている。
- D：ディフェンス力が高い。(インサイド、アウトサイドの両方を守ることができる)
- E：パスのセンスにも優れ、パスゲームを意識した走りができる。

『センター：5 番 (4 番)』

- A：オフェンス及びディフェンスのリバウンド力に優れている。
- B：ゴール下はもとより、ペイントエリアでの得点力が高い。
- C：走ることができ、ボールハンドリングが良い。
- D：身体接触を嫌がらず、あたり負けしない。(強さと高さを備えている)
- E：オフェンス、ディフェンスともにポジション取りに優れている。

以上がスキルの参考基準であるが、バスケットボールという競技は、「合わせ」「読み」「間」「呼吸」「見極め」といった感覚的なもの(感性)や経験も重要な要素であり、一概に数値化できる性質のものではない。

全ての基準を普通にできる選手と、多少劣る基準はあるが、基準によっては、ずば抜けたレベルを持つ選手等の選考は、その年度の選手構成や、県レベルを鑑み決定するので、これも一概に決定できるものではない。